

北から振り返る

OSC の存在とコミュニティ活動

2021.10.23

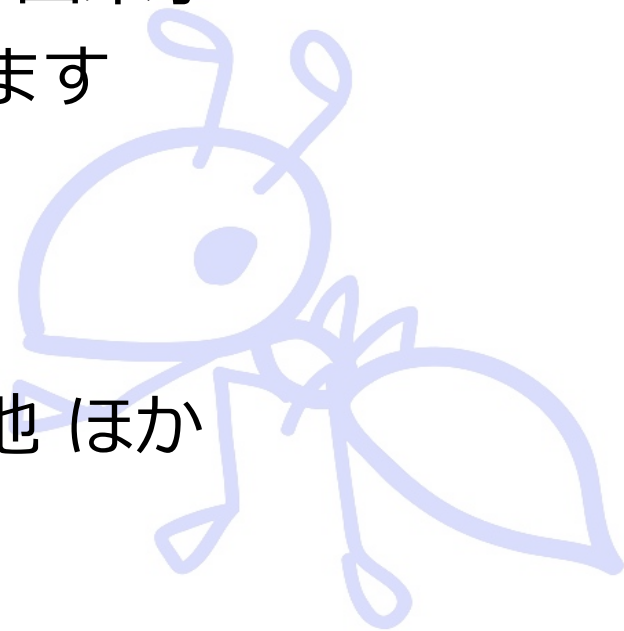
一般社団法人LOCAL

佐々木 伸幸・三谷 公美

OSC開催200回を記念して
北海道チームがこの20年の IT業界の出来事
そしてコミュニティ活動を振り返ります

講師：佐々木伸幸、三谷公美

コメンテーター：澤田周、小野寺大地 ほか



- **佐々木伸幸** LOCAL設立時理事
- **三谷公美** LOCAL現理事

コメンテーター

- **澤田周** LOCAL代表理事
- **小野寺大地** LOCAL運営委員・学生部初代部長



- URL : <https://www.local.or.jp/>
- 北海道における、技術系地域コミュニティ（IT勉強会等）の活動を支援し、コミュニティ間の連携イベント企画開催等をとおして、地域を盛り上げていくことを目標とする有志の集まり
- 所属企業、年齢、立場の垣根を超え、現役のIT技術者および技術者を目指す学生が多数所属
- 理事：7名、正会員_(学生含)：34名、賛助会員：4名
ML会員：約180名

理事のご紹介



代表理事

澤田 周

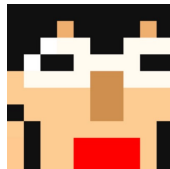
株式会社インフィニットループ
PHPカンファレンス仙台、タガヤス 等



理事

小岩 秀和

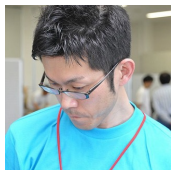
ビットスター株式会社
DoLUC 等



理事

西原 翔太

サイボウズ株式会社
ゆるい勉強会@旭川、FuraIT 等



理事

齋藤 和芳

丸中釧路中央青果株式会社
釧路OSSコミュニティ 等



理事

三谷 公美

さくらインターネット株式会社
Internet Society 日本支部、JANOG49 等



理事

菅井 祐太郎

Asakusa.rb 等

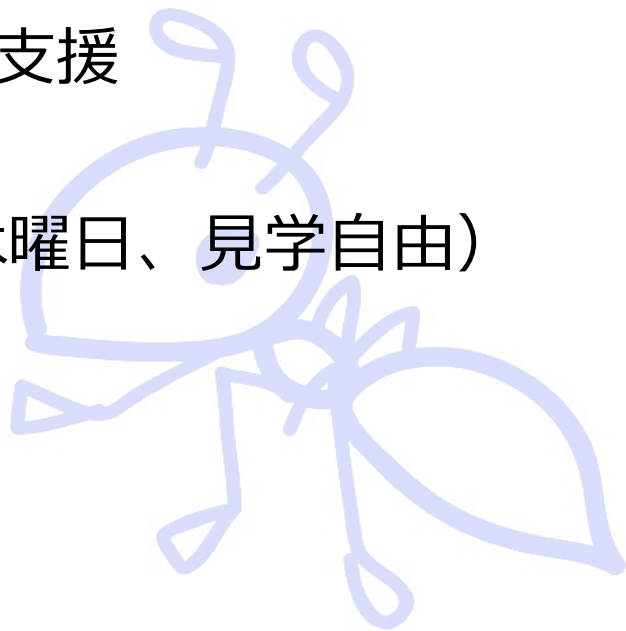


理事

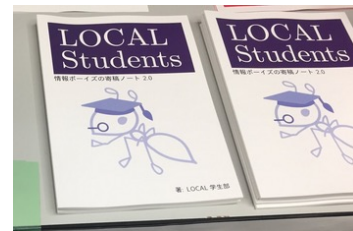
八巻 正行

株式会社クレスコ
北海道情報セキュリティ勉強会 等

- IT勉強会イベント、技術者交流イベントの企画、運営
- 大規模ITイベントの運営支援
- 勉強会へ参加したい学生の交通費支援
- 道内ITコミュニティの活動支援
- 月1回、定例会を開催（毎月第3木曜日、見学自由）
 - 広報委員会
 - 安全部
 - 学生部



- 学生によるIT勉強会の開催
- 学校を横断した交流、合同イベントの企画
- 現在は30名以上が在籍
- 卒業後、IT技術者として成長した先輩達との交流も生まれている



- LOCALが主催する、コミュニティ横断型、地域特化型のIT勉強会イベント
- 北海道内で活動している様々なコミュニティと連携しながら、それぞれの技術や地域の特色を活かしたテーマで開催



- 1日で50以上のセミナーを行うオープンソースソフトウェアの文化祭、道外からも参加者多数
(2019年来場者数：720名)
- 2005年の北海道初開催（東京以外での初開催）以降、継続して地元側の運営を支援



- ・ 遠隔地在住で金銭的理由により勉強会に参加しづらい学生へ、交通費の一部を補助
- ・ 学生の勉強会参加費、道内コミュニティが主催するイベントへの金銭支援、人的支援



The screenshot shows a web browser window displaying the LOCAL website. The address bar shows the URL <https://www.local.or.jp/about/students-transportation-expenses-support>. The page header includes the LOCAL logo and navigation links: ホーム, LOCALについて, 最近の活動, 部活動, お問い合わせ. The main content area is titled 'LOCAL 学生交通費支援制度について' and includes a timestamp '2012年07月31日 18:39'. The page is divided into sections: 【趣旨】 (Purpose) and 【支援内容】 (Support Content). The 【趣旨】 section states that LOCAL aims to support students who find it difficult to attend study groups due to distance and transportation costs. The 【支援内容】 section mentions that LOCAL provides financial support (up to 2,000 yen per student) in the form of gift certificates or OUCO cards. A sidebar on the right titled '最近の記事' (Recent Articles) lists several events, including the 2019 7th General Meeting, the 2019 6th General Meeting, and the 2019 5th General Meeting.

LOCAL 学生交通費支援制度について

2012年07月31日 18:39

【趣旨】

一般社団法人LOCALでは「学生もいろんな勉強会に参加してほしい!」と思っています。
そこで、遠距離で交通費の支出が難しい学生向けに「学生交通費支援制度」を用意しています。
各勉強会コミュニティの主催者様は下記内容をご確認のうえ、ぜひご活用ください。

【支援内容】

・ 学生1人あたり2,000円を上限とし、往復交通費の半額相当の金券(図書カードやOUOカード等)を支給します。(端

最近の記事

- 2019年7月18日(木) 第11回社員総会
- 2019年6月20日(木) 6月定例会
- LOCALは、『ソフトウェアテストシンポジウム 2019 北海道 (JaSST'19 Hokkaido)』を後援しています!
- LOCALは「SecHack365 次年度説明会 (北海道)」に参加する学生の交通費を支援します
- 2019年5月16日(木) 5月定例会

技術者文化の醸成

- 互いに尊敬し、認め合い、高めあえる人・企業との横のつながり
- 世代を超えて継承し、相談できる縦のつながり
- 互いの得意分野を発揮し、協力しあえる環境、そのベースとなる信頼感
- **「北海道で技術者として幸せになるために」**、地域を楽しくするための手段、HUBとして、LOCALというしくみを利用してもらいたい

私達の地元には

技術者文化を
根付かせたい



LOCAL設立以前にOSCのきっかけが？

年代	主な出来事
2004年	GoDo2004 開催 - 北海道で初のコミュニティ主導によるOSSイベント
2005年	OSC2005 Hokkaido 開催 - OSCとして初の地方開催
2008年	任意団体LOCAL 結成
2009年	一般社団法人LOCAL 設立 - IPAより「日本OSS奨励賞」受賞
2009年	LOCAL学生部総大会 初開催
2009年	LOCAL Developer Day 初開催
2015年	LOCAL Community Summit 初開催
2016年	北海道地域情報セキュリティ連絡会（HAISL） 加盟
2018年	内閣府「青少年のインターネット環境整備に取り組む民間団体活動事例集」へ掲載

コミュニティの自律から継続活動ための応援 (この10年<に至るまでの北海道におけるITコミュニティ活動の変遷)

有限会社サンビットシステム
佐々木伸幸

(一般社団法人LOCAL・北海道*BSDユーザーズグループ(NoBUG))

2018/12/07

- **1996年 発足 座長 北海道大学 山本 強 先生**

- 電子化されたコミュニケーションが可能にする新しい活動単位の創造
- 電子コミュニケーションリテラシの向上
- 業種・地域を超える新しい活動単位の創造
- 事業化プロセスの学習など新しい事業化へも意欲的

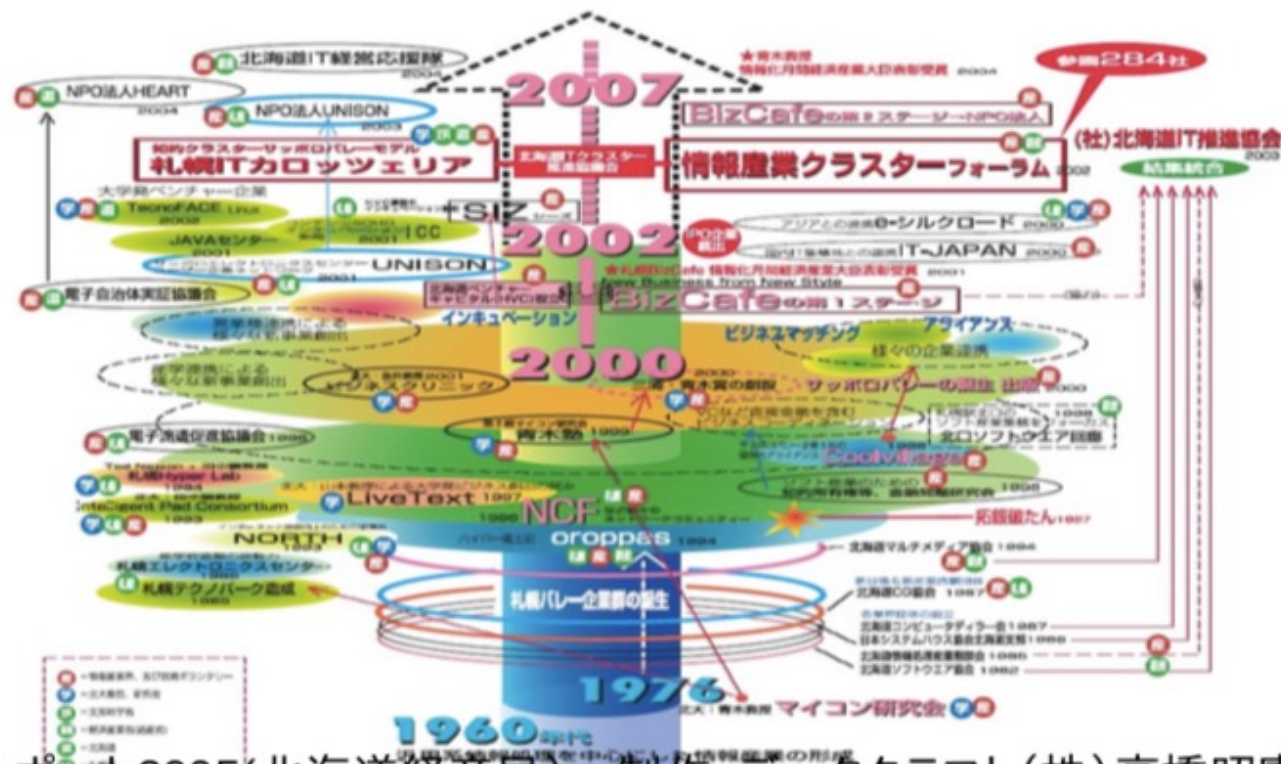
インターネットを普通の人に広げた世代

- **NCFが残したもの**

- 立場を超えた地域人脈の形成
- 電子コミュニケーションの啓蒙
- ベンチャーキャピタルとベンチャーの育成など
- 「サッポロバレー」という言葉の誕生

ITに限らず地域産業に大きな影響を与えた

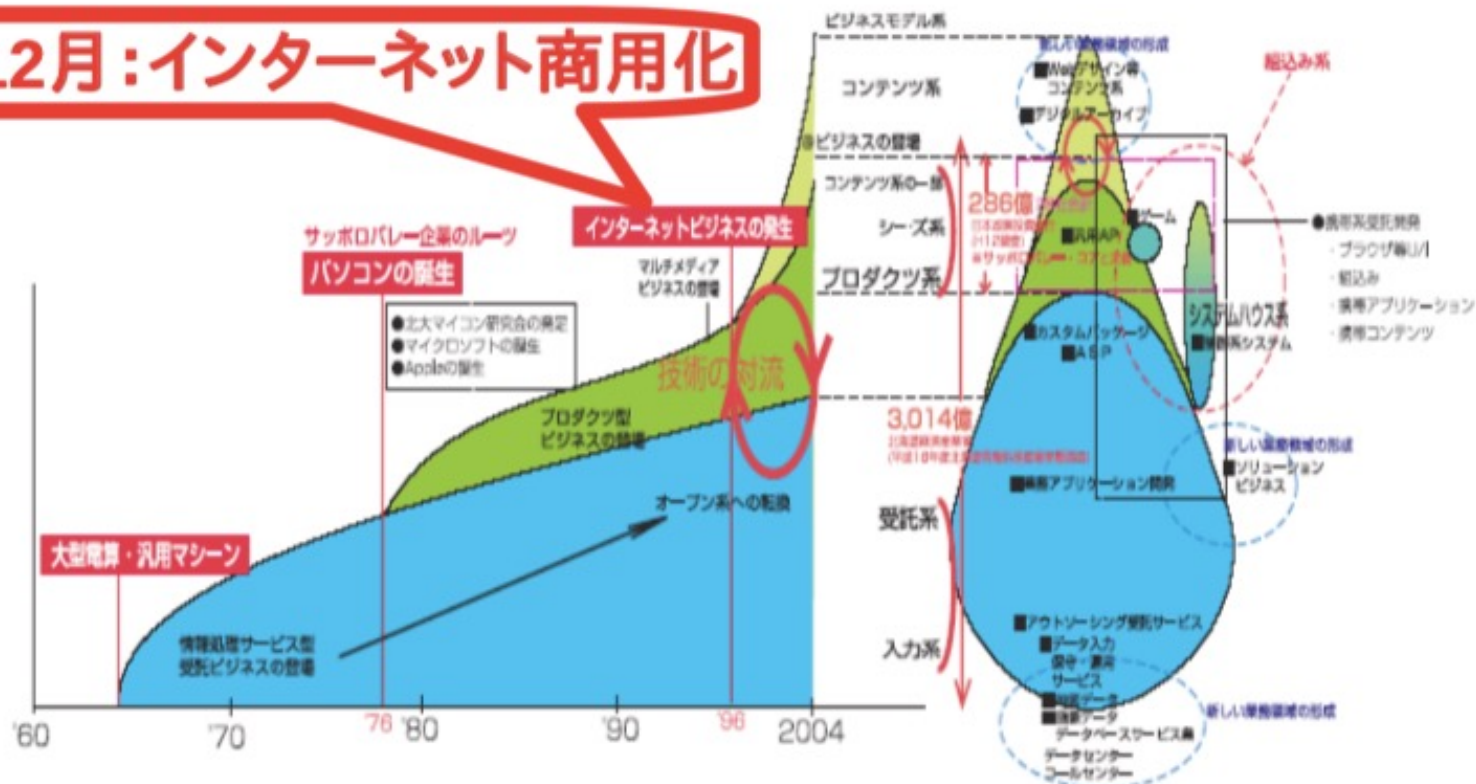
北海道情報産業の歩み



出展：北海道ITレポート2005(北海道経産局) 制作：データクラフト(株)高橋昭憲

北海道情報産業の歩み

1993年12月:インターネット商用化



- 札幌インターネットユーザーズグループ 1994年7月
- 北海道Linuxユーザーズグループ (DoLUC) 1999年4月
- 北海道*BSDユーザーズグループ (NoBUG) 2001年2月
- 日本PostgreSQLユーザ会北海道支部 2001年6月
- 北海道オープンソース&セキュリティ (HOSS) 2004年3月

その他にもいっぱいありました

- 1985年 **電電公社がNTTに移行**
 - 一般の人が端末を自由に接続できる環境
 - 1987年 第二電電/日本テレコム/日本高速通信など
- 1990年頃 **パソコン通信加入者 20万人超え**
- 1993年頃 **フリーなUNIX系OSが認知**
- 1993年 **IIJが商用インターネットサービス開始**
- 1995年 **東京インターネットサービス開始**
- 1995年11月 **Windows95 配布開始**

- **中心はITに関わる業種の社会人**
- **一部、中心の人に関わる一般の人々**
- **一部、中心の人と関わる行政的な人々**
 - 行政として推進する立場
～ ITコミュニティに意見を求めたい
 - ITコミュニティ
～ 行政にもアプローチして活動を広げたい



GODo2004 の開催



GODo2004
GET INTO OPENSOURCE HOKKAIDO 2004
2004.7.24 START 12:00
END 18:15
札幌市産業振興センター
産業振興棟
主催：GODo2004実行委員会

基調講演
オープンソース三つ巴
日本Linux協会 野首 貴晴

道内先端事例パネルディスカッション
江別ブランド事業
モザレック
株式会社びろんぶ 三好 孝
パナソニック
江別市産業振興工課
札幌学院大学 教授 沢田 信広
江別市産業振興協会 理事長 伊藤 直也
ニコンメディア開発協会

セッション

導入セッション	Nature's Linuxの紹介 PainWin活用法 統合オフィスソフト OpenOffice.org の紹介
ソリューションセッション	インターネットサーバーの構築 ウイルス対策の活用 ログ管理
テクニカルセッション	オープンソース・ストレーミング ネットワークPC活用法 Monoの紹介

19:00より懇親会を予定しておりますので、あわせてご参加いただくと幸いです
GODo2004実行委員会
お問い合わせ、参加申し込み： <http://www.godo2004.org/>

- 2004年:札幌市ITマスター、DoLucなどが中心となり実行委員会を編成
- 北海道で最初のオープンソースをテーマとした複数コミュニティの共同主催イベント
- 行政関連、商工関連の支援
- 実行委員会のそれぞれの所属の支援

来場者：約180人

- 実行委員会単独でのイベント開催の労力
- ITマスター支援としての経費支援問題
- OSC実行委員会の全国展開の計画
 - OSPNの設立と全国各地との連携
- 2005年7月 OSC2005 Hokkaido 開催
 - GODo2005 は開催されず



- **旭川**
 - 旭川SOHO協議会等がOSS関連イベントを開催
- **釧路**
 - 釧路OSSがイベントを開催

OSCに関わった各地の団体が、地域での活動を活性化してきた



- わかったこと

- ITコミュニティの情報交換の場は作れた
- 既にあるコミュニティは一部停滞している
- **中心となる人物依存が大きい**

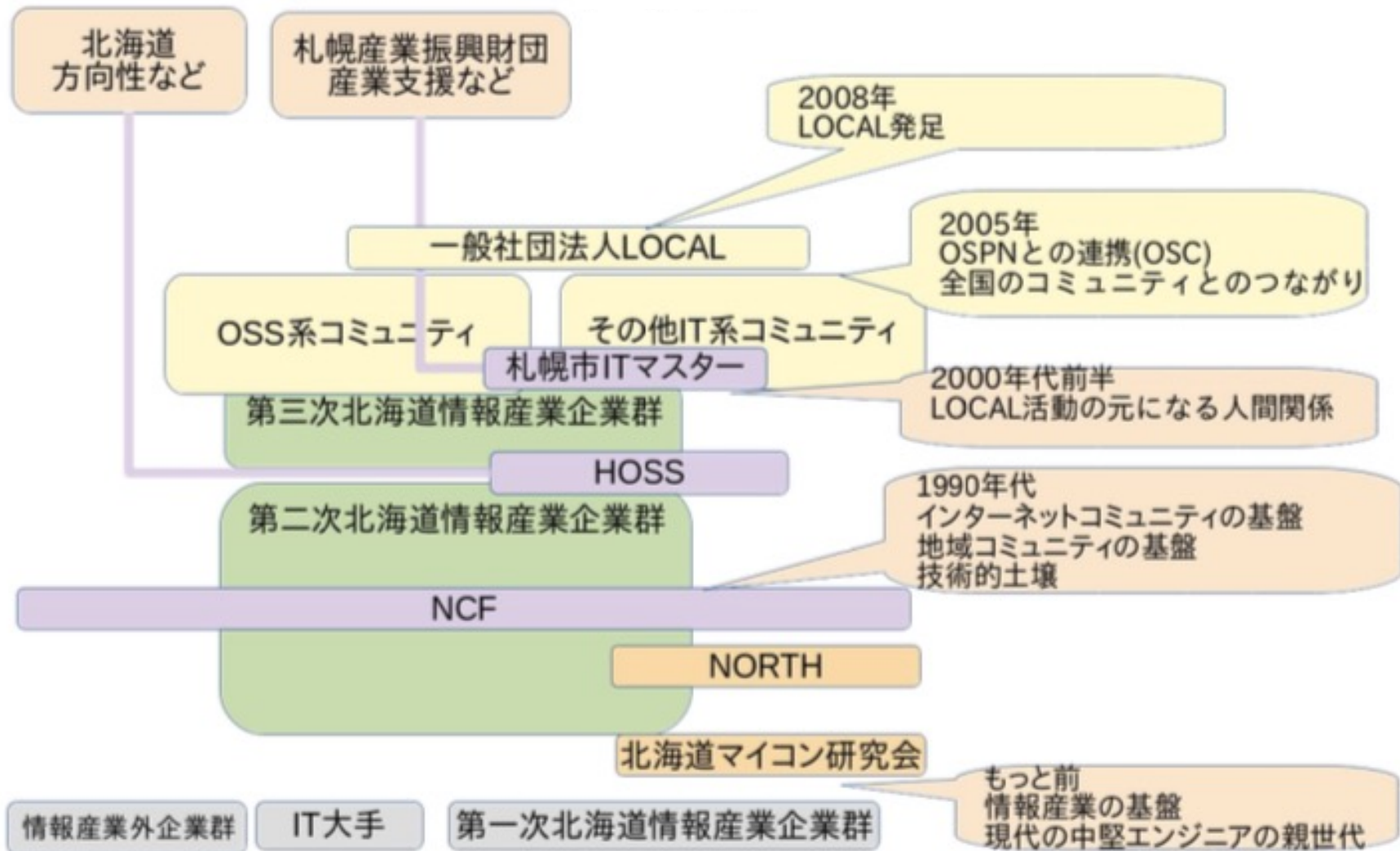
- どうする？

- IT技術者交流を通して活動を活性化し、新しい人が加わることができる環境を作れないだろうか
- 人物依存をなくし「**仕組み**」としてコミュニティを下支えできないだろうか

- **一般社団法人LOCAL 発足**

Leading Organization of Community Activity for LOCAL

- 地域コミュニティ活動を支援するコミュニティ
- 役割を割り振ることで個人への依存を減らしたい
- いろいろなコミュニティとの交流・支援を通してIT技術者の文化を LOCALエリアに根付かせたい
- 2008年1月：設立趣意書（任意団体 LOCALとなる）
- 2009年4月：法人設立



- **GoDo2004 に宮原さんが参加**
- **OSC 2005 Hokkaido 開催**
- **OSC北海道に関わるメンバーを中心に交流が生まれ**
 - 2008 任意団体LOCAL 誕生
 - 2009 一般社団法人LOCAL 設立
- **OSC北海道とは？**
 - 道内各地のコミュニティが年1で集まる ←お祭り
 - 道外からも人が集まる ←さらにお祭り
- **OSC開催200回！おめでとうございます！**

「続ける」ということ

- 10年経つと、30だった若者が40になる
大学生は、働き盛りの社会人になる…
- 世代交代
うまくいく仕組みはできないか
関わる人が疲れてしまわない、燃え尽きないような
- ITコミュニティや勉強会の様子もうつろいうごく
勉強会という形態から、イベント型へ（2018年）
そしてオンラインへ（2020年）

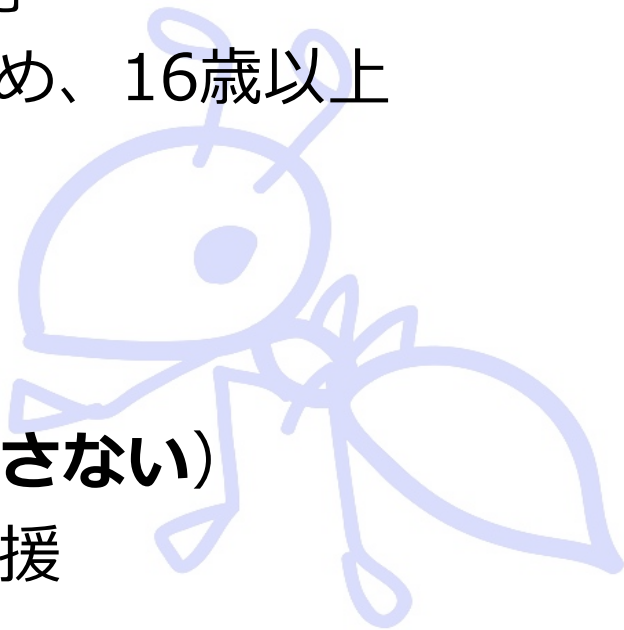


学生部の活動（2009年～2020年）

- イベント参加は中学生から可能
- 活動はSlackを利用しているため、16歳以上
- 学生を卒業したら見守る側へ

大人のルール

- とにかく見守る（原則、口はださない）
- 自由を守り、やりたいことを応援



学生部年表

2009	11/28	LOCAL学生部総大会/LDD秋 室工大、北見工大、北海道情報大が中心となり企画
2010 (小野寺)	10/30-31	第2回 LOCAL学生部総大会 北大、室工大、北見工大、はこだて未来、北海道ハイテクノロジー専門学校、苫小牧高専 (19名)
2011 (小野寺)	03/05-06	LOCAL学生部 春のハッカソン 北大、室工大、北見工大、北海道工業大 (12名)
	10/08-10	第3回 LOCAL学生部総大会 (10名)
2012 (河石)	10/06-08	第4回 LOCAL学生部総大会 北大、札幌学院大、北見工大、釧路高専、はこだて未来 (12名)

2013/12/28-29 第5回総大会



学生部年表

2013 (金沢)	12/28-29	第5回 LOCAL学生部総大会 (18名)
2014 (金沢)	08/09-10	第6回 LOCAL学生部総大会
2015 (藤田)	08/29-30	第7回 LOCAL学生部総大会
2016 (藤田)	01/16	LOCAL Student MeetUp 2016
	12/29-30	第8回 LOCAL学生部総大会
2018 (竹内)	01/05-06	第9回 LOCAL学生部総大会

2018/01/05-06 第9回総大会



学生部年表

2018
(竹内)

01/05-06

第9回 LOCAL学生部総大会 (7名)

04/22

技術書典4 出展
総大会で作成した同人誌を頒布

09/23-24

第10回
LOCAL学生部総大会
室工大、苫小牧高専、
はこだて未来、
富良野、旭川工業他
(15名)



学生部年表

2020
(灰原)

01/18-19

第11回 LOCAL学生部総大会 (19名)



2009～2011年 第一世代

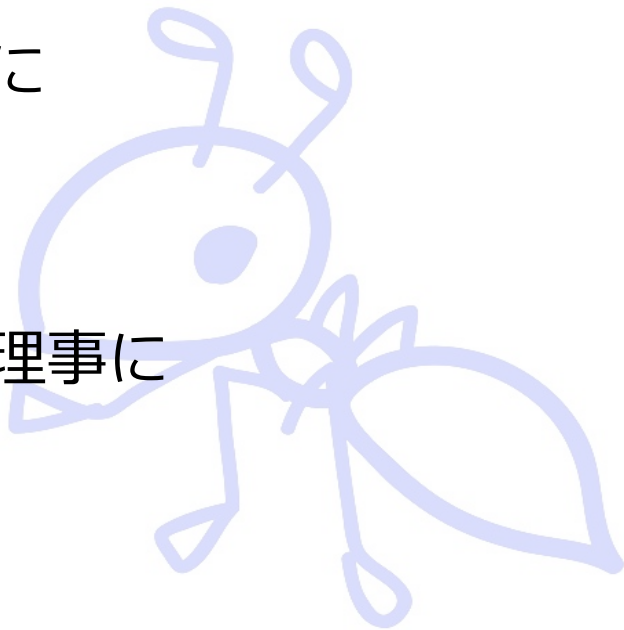
- ・ 初代部長 小野寺 運営に協力的なサポーター
- ・ 菅井は理事に、佐藤は運営委員に

2011～2013年 第二世代

- ・ 竹内(a)は運営委員に
- ・ 西原は高校教員を經由してから理事に

2014～2016年 第三世代

- ・ 藤田の安定運営と引き継ぎ



2014～2016年 第三世代

- ・ 藤田の安定運営と引き継ぎ

2017～2018年 第四世代 (西原の教え子達)

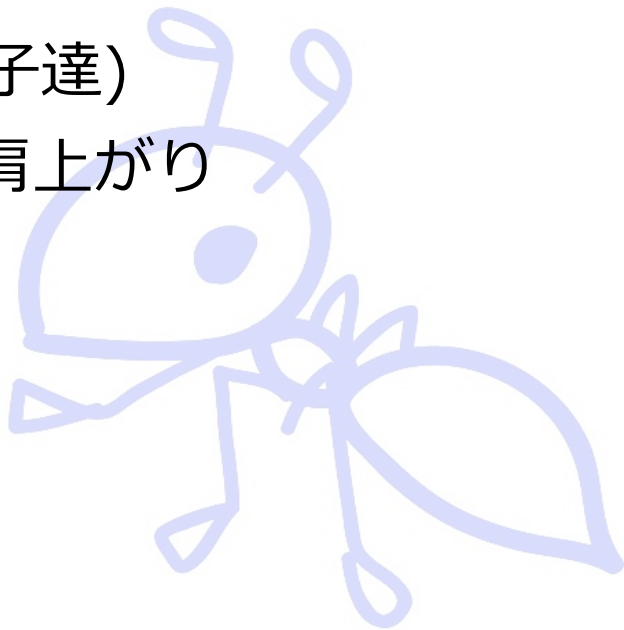
- ・ 竹内(k) 同人誌発行、部員数右肩上がり

2019年～2021年 第五世代

- ・ 灰原 + 各地の副部長体制に

2021年～ 第六世代

- ・ 猪俣・加藤 (現W部長)



実は、世代交代を担っているのは学生部なのかも？



成長を見守ることができる団体に



2009.11.28

北海道大好きだ

